

安中市バリアフリー特定事業の進捗確認等の支援業務 仕様書

1.目的

安中市では、市が目指すまちの将来像の実現に向け、子育て世帯、高齢者、障がい当事者等、誰もが生活しやすいように、また、本市を訪れる観光客等が移動しやすいように、より一層のバリアフリー化の推進を目指すため、市の主要な観光地である磯部温泉地区を対象に「バリアフリーマスタープラン(移動等円滑化促進方針)及びバリアフリー基本構想」を令和6年6月に策定した。

本計画については、PDCA(計画・実施・評価・改善)サイクルにより、実情に則した計画となるように段階的かつ継続的な見直し(スパイラルアップ)を行うため、毎年1回程度、協議会の下部組織による進捗確認を行うこととしている。

そのため本業務では、計画において設定した特定事業の進捗について、事業主体等による資料を整理するとともに、地域に関わる高齢者、障がい当事者、その他の市民等の意見を収集することで、事業主体・利用者の両面から各特定事業の進捗状況の確認・評価、課題の整理等を行う。

2.履行期間

契約締結日から令和8年3月27日

3.業務内容

(1)特定事業の事業主体と行政による、特定事業の進捗状況の整理

各特定事業(ハード事業だけではなくソフト事業も含む)の進捗状況について、事業主体や行政等による資料に基づき、進捗状況を整理した表(以下、進捗状況整理表、と記す。)を作成する。

進捗状況表については、計画期間内について1年ごとに進捗状況がわかるようにするとともに、「その他事業実施に際し配慮すべき事項」等の欄を設け、詳細な事業実施状況や、事業実施に関わる課題等も整理できるようにする。

(2)高齢者や障がい当事者、その他の市民等による、まちあるき点検等

特定事業の進捗状況確認のため、高齢者や障がい当事者、子育て世代の方、その他の市民等を含めたまち歩き点検とワークショップを実施する。

ワークショップについては、まち歩き点検における確認結果を共有し、対象事業についての評価を収集・整理する。

なお、今後検討していくバリアフリーマップに係る調査支援も、本業務に含むものとする。

(3)進捗状況検討委員会(仮称)の運営

特定事業の事業主体を主な構成員とした「進捗状況検討委員会(仮称)」を新たに設置し、進捗状況の報告を行う。委員会の開催回数は1～2回を想定するが、詳細は発注者と調整する。

委員会の実施にあたり、資料作成、会議への参加、議事要旨の作成、意見の整理等を行う。なお、日程調整、出欠確認、会場の確保、資料印刷等については、発注者で行うことを想定する。

作成する資料は、以下のようなものを想定する。

- ・進捗状況をまとめた資料
- ・進捗状況整理表
- ・バリアフリーに関わる情報共有等

(4)報告書のとりまとめ

以上の業務の経緯と結果を、報告書にとりまとめる。

(5)打合せ協議

打合せ協議は、業務の開始時、中間時、終了時に行うこととするが、発注者の要望に応じて随時行う。

4.成果品

成果品は以下の通りとする。なお、発注者の求めに応じて作業の途中成果を提供する。

- ・報告書 1部
- ・報告書のデータを収めた電子媒体 1部